

(様式第1号)

みなとSDGs パートナー 登録申請書

令和4年 8月31日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGs パートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企 業 ・ 団 体 名	あおみ建設株式会社
所 在 地	東京都千代田区外神田二丁目2番3号 住友不動産御茶ノ水ビル
代 表 者 役 職 ・ 氏 名	代表取締役社長 河邊 知之
担 当 者 連 絡 先	電 話：03-5209-7850
	メール：fukuzono.masahiko@aomi.co.jp
ウ ェ ブ サ イ ト U R L	https://www.aomi.co.jp

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

弊社は、大正6年（1917年）に創業した建設会社であり、全国の港湾を中心として海洋土木工事、海上地盤改良工事、浚渫・埋立工事、内陸土木工事、陸上地盤改良工事の請負事業を実施しております。

3 側 面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	働き方改革における生産性向上により時間外労働時間の短縮に取り組んでいます。	月平均時間外労働時間 【2018 年実績】55 時間 【2030 年目標】30 時間
☒ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	社有車において、電動車の導入によりCO2 排出量の削減に取り組んでいます。	電動車（HV、FCV 含む）の導入率 【2020 年実績】75 % 【2030 年目標】100 %かつモーターを動力とする EV・FCV の導入率30 %以上
☐ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済		

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している						5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	・ハラスメント防止規定を制定している ・ハラスメント相談窓口を社内外に設けている ・外部講師によるハラスメント防止講習を実施(年1回)している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・働き方改革に伴う行動計画の策定と進捗確認を行っている ・現場におけるICT活用の取組を推進し、生産性を向上させて労働時間を削減する取り組みを行っている								8.5 8.8									
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している					4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	・労働安全衛生マネジメントシステム(ISO45001:2018)の認証を取得している【認証番号:MSA-SS-163 認証範囲:土木構造物の施工】 ・年度毎に「安全衛生目標」を立案している ・安全衛生推進会議(本社毎月1回)、安全大会(本社・支店年1回)を開催し、安全衛生を推進している			3					8									
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる			3															
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	・子育てサポート企業「くるみん」(2022年)の認定を取得している					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している				4	5.5				8	9								
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している					5.5				8.5		10.2 10.3							
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる			3						8									
11	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる	・自社保有の船舶・機械から発生する廃棄物の削減と再資源化・有価物化の推進に取り組んでいる											11.6	12.4 12.5		14.1			
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている								7.3						13				
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	・社有車において電動車の導入によりCO2排出量の削減に取り組んでいる							7.2 7.3					12.4	13				

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる				3.9			6.3					11.6	12.4					
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	・自社技術『水底土砂ポンプ浚渫工法』を活用し、お堀・ため池等における堆積物除去（浚渫）と水質浄化による土壌改善と生態系保全に取り組んでいる			3.9			6.6									15		
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる						6.4 6.6										15		
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	・環境マネジメントシステム（ISO14001：2015）の認証を取得している【認証番号:MSA-ES-630 認証範囲：土木構造物の設計及び施工並びに建設技術の研究開発】			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している													12.6					
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる							7.2							13				
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	・資源利用の効率化により環境負荷の軽減（新石材のロス率低減）に取り組んでいる								8				12.2		14	15		
21	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している				3.9									12.4					
22	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	・品質マネジメントシステム（ISO9001：2015）の認証を取得している【認証番号:MSA-QS-2735 認証範囲：土木構造物の設計及び施工並びに建設技術の研究開発】									9								
23	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	・既設構造物の延命化技術や環境負荷低減技術の開発・改良に取り組んでいる ・インフラの長寿命化に向けた岸壁等の維持修繕計画の立案や計画に則った調査工等に取り組んでいる									9		11	12	13	14			
24	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	・無振動・低騒音式の自社技術である静的締固め砂杭工法『KS-EGG工法』による地盤改良技術の展開に取り組んでいる									9		11	12	13				
25	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している					4					9		11	12		14	15		17
26	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・地域清掃活動への参加、インターンシップ、公開講座などの社会貢献活動に積極的に取り組んでいる				4										14	15		17
27	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	・農業分野（合併会社）に参画して遊休農地の解消や国内農業の発展（食料自給率の向上）などの社会・地域貢献を図るとともに、地方公共団体と連携して地域活性化に取り組んでいる		2.4						8	9						15		17
28	【内部管理体制】 ・SDG s の達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	・社内イントラネット掲示板や社内報により共有している。また全社員へバッジを配布し、より意識づけを行うとともに、対外的にも取り組み姿勢を示している。								8	9								17

令和 5 年 9 月 21 日

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地： 東京都千代田区外神田二丁目 2 番 3 号
住友不動産御茶ノ水ビル

名称： あおみ建設株式会社

代表者： 代表取締役社長 河邊 知之

登録年月日： 令和 4 年 9 月 2 1 日

みなと SDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた 重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
□環境 ✓社会 ✓経済	働き方改革における生産性向上により時間外労働時間の短縮に取り組んでいます。	月平均時間外労働時間 【2018 年実績】 5 5 時間 【2030 年目標】 3 0 時間	月平均時間外労働時間 【2022 年実績】 4 4 . 2 時間
✓環境 □社会 ✓経済	社有車において、電動車の導入により CO2 排出量の削減に取り組んでいます。	電動車 (HV、FCV 含む) の導入率 【2020 年実績】 7 5 % 【2030 年目標】 1 0 0 %かつモーターを動力とする EV・FCV の導入率 3 0 %以上	【2022 年】電動車の順次導入 ・電動車導入率 (HV、FCV 含む) 7 8 . 7 % ・モーター駆動 HV、FCV 車導入率 0 . 0 %
□環境 □社会 □経済			

令和 6 年 9 月 6 日

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地： 東京都千代田区外神田二丁目 2 番 3 号
住友不動産御茶ノ水ビル

名称： あおみ建設株式会社

代表者： 代表取締役社長 河邊 知之

登録年月日： 令和 4 年 9 月 2 1 日

みなと SDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた 重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
□環境 ✓社会 ✓経済	働き方改革における 生産性向上により時 間外労働時間の短縮 に取り組んでいます。	月平均時間外労働時間 【2018 年度実績】 5 5 時間 【2030 年度目標】 3 0 時間	月平均時間外労働時間 【2023 年度実績】 3 6 . 8 時間
✓環境 □社会 ✓経済	社有車において、電 動車の導入により C O2 排出量の削減に 取り組んでいます。	電動車（HV、FCV 含む）の導入率 【2020 年度実績】 7 5 % 【2030 年度目標】 1 0 0 %かつモーターを動力とす る EV・FCV の導入率 3 0 %以上	【2023 年度】電動車の順次導入 ■電動車導入率（HV ,FCV 含む） 7 8 . 7 % ■モーター駆動 EV・FCV 車導入率 0 . 0 %
□環境 □社会 □経済			

令和 7 年 1 0 月 1 4 日

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地： 東京都千代田区外神田二丁目 2 番 3 号
住友不動産御茶ノ水ビル

名称： あおみ建設株式会社

代表者： 代表取締役社長 河邊 知之

登録年月日： 令和 4 年 9 月 2 1 日

みなと SDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
□環境 ✓社会 ✓経済	働き方改革における生産性向上により時間外労働時間の短縮に取り組んでいます。	月平均時間外労働時間 【2018 年度実績】 5 5 時間 【2030 年度目標】 3 0 時間	月平均時間外労働時間 【2024 年度実績】 3 2. 5 時間
✓環境 □社会 ✓経済	社有車において、電動車の導入により CO2 排出量の削減に取り組んでいます。	電動車（HV、FCV 含む）の導入率 【2020 年度実績】 7 5 % 【2030 年度目標】 1 0 0 %かつモーターを動力とする EV・FCV の導入率 3 0 %以上	【2024 年度実績】 電動車の導入 ■電動車導入率（HV ,FCV 含む） 7 8. 7 % ■モーター駆動 EV・FCV 車導入率 0. 0 %
□環境 □社会 □経済			